

## 1 議 事 日 程

[平成25年太宰府市議会 決算特別委員会]

平成25年9月3日

午前 11 時 10 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成24年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について  
日程第2 認定第2号 平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第3 認定第3号 平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第4 認定第4号 平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第5 認定第5号 平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第6 認定第6号 平成24年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について  
日程第7 認定第7号 平成24年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

## 2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	原 田 久美子 議員
委員	陶 山 良 尚 議員	委員	神 武 綾 議員
〃	上 疆 議員	〃	芦 刈 茂 議員
〃	小 畠 真由美 議員	〃	長谷川 公 成 議員
〃	藤 井 雅 之 議員	〃	後 藤 邦 晴 議員
〃	不 老 光 幸 議員	〃	渡 邊 美 穂 議員
〃	小 柳 道 枝 議員	〃	大 田 勝 義 議員
〃	佐 伯 修 議員	〃	村 山 弘 行 議員
〃	福 廣 和 美 議員	〃	橋 本 健 議員

## 3 欠席委員は次のとおりである

な し

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（22名）

市長	井 上 保 廣	副市長	平 島 鉄 信
教育長	木 村 甚 治	総務部長	三 笠 哲 生
市民生活部長	古 川 芳 文	健康福祉部長	中 島 俊 二
建設部長	辻 友 治	会計管理者併 上下水道部長	松 本 芳 生
教育部長	今 泉 憲 治	教育部理事	堀 田 徹
総務課長	友 田 浩	経営企画課長	濱 本 泰 裕
市民課長	宮 原 広富美	納税課長	伊 藤 剛
福祉課長	阿 部 宏 亮	高齢者支援課長	平 田 良 富

保健センター所長 井 浦 真須己

都市計画課長 今 村 巧 児

教 務 課 長 井 上 均

国保年金課長 永 田 宰

上下水道課長 石 田 宏 二

監査委員事務局長 関 啓 子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 坂 口 進

書 記 白 石 康 子

議 事 課 長 櫻 井 三 郎

開会 午前11時10分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の決算特別委員会は、認定第1号から認定第7号までについて、各所管部長からの説明にとどめたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 平成24年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第1、認定第1号「平成24年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（三笠哲生） 認定第1号「平成24年度太宰府市一般会計歳入歳出決算について」、その概要をご説明申し上げます。

資料といたしまして、決算書と同時に配付いたしております事務報告書をごらんいただきたいと思います。

1ページはぐってもらいまして、決算の概要、この決算の概要を資料といたしまして説明をさせていただきます。

なお、説明の都合上、決算額は千円単位で説明させていただきます。

初めに、1ページの会計別決算状況をごらんください。

平成24年度の一般会計の決算額は、歳入総額225億8,219万6,000円、歳出総額212億2,309万3,000円となっております。

参考に、それを前年度と比較いたしますと、歳入では6億4,463万7,000円、2.9%の増となっております。歳出では6億2,418万円、3.0%の増となりました。

歳入歳出差し引き残高は13億5,910万3,000円の黒字となり、ここから小・中学校校舎大規模改造事業など、繰越明許費として翌年度に繰り越すべき財源3億6,621万6,000円を差し引きますと、実質収支額として9億9,288万7,000円の黒字決算となっております。

次に、2ページをごらんください。

こちらに普通会計決算の概略を載せておりますが、これからの説明につきましては一般会計に住宅新築資金等貸付事業特別会計を含めた普通会計の収支になりますので、あらかじめご了承を願います。

平成24年度の予算執行に当たりましては、厳しい財政状況が続く中であって限られた財源の重点配分と経費支出の効率化に努めながら、各種事業、施策等の積極的、効率的推進に努めてきたところでございます。その結果、2ページに掲げます決算の内訳となっております。

それではまず、歳入からご説明申し上げます。

3ページをごらんください。

歳入全体の決算額は225億8,828万6,000円で、前年度より6億4,261万4,000円、2.9%の増となっております。主な要因は、前年度繰越金や国際交流協会出資金の返還による財産収入の増、また市町村災害共済基金組合の解散に伴う納付金の返還による諸収入の増などです。

次に、市税の内訳をご説明いたします。

4ページをごらんください。

市税の決算額は77億9,136万9,000円で、前年度と比較しますと3,549万4,000円、0.5%の減収となっております。減収の要因といたしましては、個人市民税は年少扶養控除廃止の影響により増加しましたがけれども、固定資産税や都市計画税が3年に1度の評価替えに伴い減少したことによるものです。

また、5ページには、一般財源の状況を載せております。

一般財源全体としては147億9,267万2,000円で、前年度から1億3,880万9,000円、0.9%の増となっております。内訳としましては、地方特例交付金や地方交付税は減額となりましたけれども、繰越金や諸収入の増に伴い、一般財源全体として増額となっております。

以上で歳入状況の説明は終わらせていただきます。

次に、7ページをごらんください。

歳出の状況をご説明いたします。

歳出全体の決算額は212億2,895万円で、前年度より6億2,619万9,000円、3%の増となっております。内訳を目的別に見ますと、総務費が庁舎改修事業費、公共施設整備基金積立金などの影響により5億4,308万2,000円、21.6%の増、民生費が介護・訓練等給付関係費、生活保護費などの影響によりまして1億6,949万3,000円の増となっております。

下段の目的別決算の推移でもおわかりいただけますように、下から2番目、民生費の割合が年々大きくなっているところでございます。

次に、8ページをごらんください。

歳出を性質別に分けて分析しております。

義務的経費のうち人件費及び公債費は減額となっておりますが、生活保護費などの増に伴い扶助費は増額となっております。

また、投資的経費については、五条口線拡幅事業費、小学校校舎大規模改造事業費などを実施したことにより5億1,790万4,000円、26.6%の増額となりました。

その他の経費では、賃金や電算関係の経費の増により、物件費が5,749万4,000円、1.9%の増、また各種基金への積立金を7,445万6,000円、9.4%増額いたしております。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

次に、本市の財政状況についてご説明をいたします。

9ページをごらんください。

経常収支比率の推移を載せております。経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標の一つですけれども、平成24年度は90.6%で、前年度から0.3ポイント改善をいたしました。その要

因としましては、人件費や公債費の減とともに、内部経費などの経常経費を徹底して削減した結果のあらわれだと考えております。

次に、10ページに健全化判断比率を載せておりますのでごらんください。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標から成ります。

本市の平成24年度健全化判断比率は、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率の表示もございません。また、一部事務組合まで含めた実質公債費比率は5.5%となり、昨年より1.2ポイント改善をされました。さらに、地方公社や第三セクターなどまで含めた将来負担比率は、将来負担額から充当可能財源を引きますとマイナスになりますので、負担率の表示はありません。したがって、10ページの表からもおわかりのとおり、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要であります。

10ページ及び11ページには、市債残高と基金残高の推移をグラフで載せております。

平成24年度末の市債残高は200億円を下回り、グラフでは100万円単位ですけれども、199億2,358万6,000円で、前年度より2億446万8,000円減少をしております。

市債残高199億円余りを参考までに分析いたしますと、このうちの64%、約127億円は後年度に普通交付税として交付される額であり、また22%を占めます約44億円が史跡地公有化の償還補給金などとして補助金で賄われます。よって、市債残高のうち実負担額、いわゆる真水部分ですけれども、199億円のうち14%の約28億円ということになります。

一方、基金残高はここ数年増加しておりますが、平成24年度末においては前年度より5億7,716万円増の41億7,453万6,000円で、9年ぶりに40億円を超えることができました。

以上、簡単でございますけれども、一般会計及び普通会計の歳入歳出決算についての概要を説明いたしました。

詳細につきましては、配付させていただいております決算書並びに事務報告書、監査意見書等をご参照いただければと考えております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、認定第2号「平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（中島俊二） 認定第2号「平成24年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について」、その概要をご説明申し上げます。

初めに、本市の国民健康保険被保険者の加入状況につきまして、平成24年度の平均数値で申し上げますけれども、加入世帯数は1万363世帯、加入率は35.1%、被保険者数は1万7,840人で、加入率は25.2%となっております。

次に、決算の状況につきましてご説明を申し上げます。

決算書は275ページからとなっております。

まず、決算書277ページをお開きください。

歳入の決算額につきましては、歳入合計71億5万2,746円となっております、前年度に比べ2億6,504万529円、3.9%の増となっております。

次に、281ページをお開きください。

歳出の決算額につきましては、歳出合計77億6,417万5,373円で、前年度と比べて4億2,635万6,326円、5.8%の増となっております。

歳入歳出差し引き額は6億6,412万2,627円の赤字決算となっておりますけれども、この歳入総額につきましては、去る6月議会におきまして平成25年度補正予算といたしましてご承認をいただいているところでございます。

次に、歳入の主なものにつきましてご説明をいたします。

282ページ、283ページをお開きください。

1 款国民健康保険税は15億6,556万9,041円で、前年度に比べ326万5,474円、0.2%の減となっております。

284ページ、285ページの2 款国庫支出金でございますけれども、16億1,937万4,976円で、療養給付費等負担金の減などによりまして前年度に比べ1億8,824万4,003円、10.4%の減となっております。

286ページ、287ページの3 款療養給付費交付金は4億1,423万3,804円で、前年度に比べまして8,541万6,813円、17.1%の減となっております。

4 款前期高齢者交付金につきましては、概算で交付を受けまして、2年後に精算を行う仕組みとなっております、平成24年度は平成22年度分の精算に伴う追加交付といたしまして1億8,164万3,319円を含んだ交付となりましたことから、前年度に比べ4億8,638万1,067円、34.6%増の18億9,410万6,040円となっております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明をいたします。

296ページ、297ページをお開きください。

2 款保険給付費は49億3,301万736円、前年度に比べまして1億258万1,917円、2.1%の増、歳出総額に占めます割合は63.5%となっております。

300ページ、301ページをお開きください。

3 款後期高齢者支援金等につきましては、後期高齢者の医療給付費の現役世代の負担として

拠出するものでございますけれども、8億7,831万9,353円となっておりまして、前年度に比べ9,822万2,359円、12.6%の増、歳出総額に占める割合は11.3%となっております。

302ページ、303ページの6款介護納付金は3億4,448万1,086円で、前年度に比べまして2,791万7,117円、8.8%の増となっております。

304ページ、305ページの7款共同事業拠出金は8億9,139万8,812円で、前年度に比べ2,844万8,892円、3.3%の増となっております。

以上が決算概要でございますけれども、全国的に市町村の国民健康保険運営は非常に厳しい財政状況が続いております。現在国では社会保障制度改革国民会議の報告を受けまして、社会保障制度改革推進法第4条の規定に基づく法制上の措置としての骨子が閣議決定されたところでございます。国民皆保険を維持するため、消費増税を財源として国民健康保険の財政支援の拡充と、財政上の構造的な問題を解決した上で、国民健康保険事業の財政運営主体を平成29年度までに都道府県に移行することなどが予定されております。

本市といたしましては、今後の国の法案化などの動向を注視しながら、国民健康保険制度の安定的、持続的な運営に向け、関係機関にさまざまな働きかけを行いますとともに、広く市民の健康づくりに資する啓発、取り組みなどを行い、医療費の適正化に努めてまいります。

よろしくご審議いただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 認定第3号 平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、認定第3号「平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（中島俊二） 認定第3号「平成24年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は313ページからとなっております。

まず、314ページ、315ページをお開きください。

歳入合計は10億1,071万2,743円、歳出合計は9億6,003万4,959円となっておりまして、歳入歳出差し引き額は5,067万7,784円の黒字決算となっております。

前年度と比較しますと、歳入で9,971万9,834円、10.9%の増、歳出で9,448万7,324円、10.9%の増となっております。

316ページ、317ページをお開きください。

歳入の主なものとして、1款保険料8億200万6,826円、3款繰入金1億6,306万1,543円でございます。

次に、歳出の主なものでございます。

320ページ、321ページをお開きください。

1款1項2目広域連合負担金が9億3,260万8,500円、前年度と比べ9,439万8,073円、11.3%の増となっております。この連合負担金の明細につきましては事務報告書に記載しております。

以上が歳入歳出の主な決算状況でございます。

平成20年度に創設されました後期高齢者医療制度につきましては、去る8月6日に社会保障制度改革国民会議から報告されました報告書におきまして、この制度が5年を経過し、十分定着しており、今後必要に応じて改善を加えていくことが適当と記載されておきまして、8月21日に閣議決定されました社会保障制度改革推進法第4条の規定に基づく法制上の措置としての骨子におきましても、必要に応じて見直しに向けた検討を行うと記載されているところでございます。

本市といたしましては、今後の国の制度改革などの動向を注視しながら、遺漏のないように対応してまいりたいと考えております。

よろしくご審議いただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、認定第4号「平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（中島俊二） 認定第4号「平成24年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は325ページからとなっております。

まず、保険事業勘定からご説明申し上げます。

326ページ、327ページをお開きください。

歳出総額は40億8,247万7,317円で、歳入歳出差し引き額275万7,931円の黒字決算となっております。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

330ページ、331ページをお開きください。

1款の65歳以上の第1号被保険者保険料は8億9,623万1,559円、前年度と比べ1億1,400万477円、14.6%の増となっております。

2款国庫支出金は7億9,412万2,916円で、前年度に比べ2,105万5,356円、2.7%の増となって

おります。

3 款支払基金交付金は40歳から64歳までの第2号被保険者保険料につきましては各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収されております介護保険料を交付金として11億1,434万5,000円を受け入れておりまして、前年度に比べ1,560万4,930円、1.4%の増となっております。

332ページ、333ページをお開きください。

4 款県支出金は5億9,680万6,832円、前年度に比べ3,660万2,657円、6.5%の増となっております。

6 款繰入金金は6億5,899万2,153円、前年度に比べ350万8,462円、0.5%の増となっております、全体的に介護給付費の増加に伴いまして増加しております。

次に、338ページ、339ページをお願いいたします。

歳出の主なものといたしましては、1 款総務費は1億6,723万3,779円、前年度に比べ370万8,009円、2.3%の増となっております。

342ページ、343ページをお開きください。

2 款保険給付費は38億4,749万5,807円で、歳出総額の94%を占めておりまして、前年度に比べ2億1,132万8,681円、5.8%の増となっております。

1 項の介護サービス等諸費は、要介護と認定されました被保険者の方のサービス費用の9割相当分で34億939万1,148円、前年度に比べ1億7,308万2,261円、5.3%の増となっております。

346ページ、347ページをお開きください。

2 項の介護予防サービス等諸費は、要支援と認定されました被保険者の方のサービス費用の9割相当分で、2億2,888万8,537円となっております。

350ページ、351ページをお開きください。

6 項の特定入所者介護サービス等費は、低所得者の施設利用が困難とならないよう、所得に応じた自己負担額を設定し、残りの基準額との差額を給付する制度でございまして、1億1,611万6,560円、前年度に比べ1,252万4,870円、12.1%の増となっております。

3 款地域支援事業費につきましては、地域で自立した生活ができるよう支援する事業で、5,669万4,847円となっております。

続きまして、介護サービス事業勘定につきましてご説明を申し上げます。

362ページ、363ページをお開きください。

歳入総額2,746万7,733円、歳出総額2,041万4,541円で、歳入歳出差し引き額は705万3,192円の黒字決算となっております。

364ページ、365ページをお開きください。

歳入の主なものとしましては、1 款サービス収入がケアプラン作成手数料の2,258万709円となっております。

366ページ、367ページをお開きください。

歳出につきましては、全額1 款総務費の2,041万4,541円となっております。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議をいただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、認定第5号「平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（古川芳文） 「平成24年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明を申し上げます。

決算書は369ページから378ページまでとなっております。

371ページをごらんください。

平成24年度の歳入歳出決算につきましては、歳入が630万1,430円、歳出が586万436円となっております。歳入歳出差し引き44万994円の繰り越しとなっております。対前年度比で見ますと、歳入で22.4%、181万5,236円の減額、歳出で52.5%、201万8,722円の増額となっております。

歳入が減額になりましたのは、平成23年度は1名の定期償還者が貸付金の残額を一括返済されたため歳入が増額していたものでございます。

また、歳出が増額になりましたのは、同じく平成23年度における定期償還者の一括返済により前年度繰越金が増額したため、平成24年9月補正を行い、増額分を住宅新築資金等公債償還積立金へ支出したことによるものでございます。

今後の滞納解消に向けた取り組みといたしましては、厳しい経済状況ではございますが、滞納者への戸別訪問などの個別対応を行うほか、連帯保証人や相続人等にも催促を行うなど、滞納解消に努めてまいります。

以上、よろしくご審議いただきまして、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 認定第6号 平成24年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、認定第6号「平成24年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） それでは、水道事業の決算概要についてご説明を申し上げます。

決算書は水色のほうになります。

平成24年度におきましては、年間を通して適度な降雨に恵まれ、安定的に水の供給が行われたところでございます。

まず、営業でございますけれども、決算書の6ページをお願いします。

年間の給水量、有収水量につきましては、業務量の表のとおりでございますけれども、中ほどの普及率が前年度から0.5ポイント上昇し、81.2%となっております。これが平成25年度に入り、今現在1%の伸びを示しております、加入負担金の減額の効果があらわれているものと見られますことから、一定期間延長をさせていただきたく、給水条例の改正案を上程しておりますので、よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。

また、未加入者等への普及啓発につきましては、昨年から広報、ホームページへの掲載、促進チラシの郵送、さらに6月の水道週間におけるPRに取り組んでございまして、これは今後も継続していきたいと考えております。

次に、建設改良でございますけれども、1ページちょっと戻っていただきまして、4ページと5ページになりますけれども、当年度に完成いたしました建設工事の概況を掲載しておりますので、これは後ほどご参照いただければと思っております。

次に、8ページ、9ページでございますけれども、重要契約の要旨並びに企業債等の概況を掲載しております。

企業債の平成24年度末現在高としましては、前年度から約7,800万円減少し、16億2,000万円余りとなっております。また、今年度におきましても、一時借入れは行っておりません。

続きまして、経理でございますけれども、14ページをお願いいたします。

平成24年度の損益計算では、下から3行目になりますけれども、当年度2,875万5,065円の純損失となっております。これは市長の提案理由説明にもありましたけれども、松川3号配水池の移設工事に関連して2つの配水池を撤去しましたことから、損益計算書の2項営業費用、7目資産減耗費が大幅に増加したのが要因であり、今年度特有の一次的なものでございます。ちなみにこれを除けば1億3,000万円を超える黒字となります。

続きまして、16ページをお願いいたします。

平成24年度の剰余金処分計算書（案）でございます。当年度末での未処分利益剰余金は9億3,472万3,108円となっており、この全額を次年度に繰り越す内容でご提案を申し上げます。したがって、今年度の処分数額は0円となっております。

なお、17ページ以降には、貸借対照表、収益費用明細書、資本的収支明細書、固定資産明細書並びに企業債明細書を添付しておりますので、これも後ほどご参照いただければと思います。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成24年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、認定第7号「平成24年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） それでは、下水道事業の決算概要をご説明申し上げます。

決算書は黄色になります。

まず、営業でございますけれども、決算書の5ページをお願いします。

業務概況でございますけれども、普及率が99%、水洗化率が97.2%、水洗化人口普及率は96.3%となっております。

水洗化人口は前年度から0.3ポイント上昇しまして6万7,961人となっております。

有収水量でございますけれども、一般汚水につきましては0.5ポイント、温泉汚水につきましては2.1ポイント伸びている状況となっております。

整備率につきましては84.4%ございまして、残すところ市街化調整区域、北谷及び内山地区の各一部となっております。今後、計画的な整備に努めていきたいと考えております。

次に、建設改良でございますけれども、今年度に完成いたしました工事の概況を4ページに掲載しております。奥園雨水につきましては、平成23年度の繰越事業でございます。そのほか、内山枝線3件、松川枝線1件が完了いたしております。

8ページをお願いいたします。

企業債及び一時借入金の概況でございますけれども、企業債の平成24年度末現在高としましては、前年度から約6億7,000万円減少し、104億7,000万円余りとなっております。元金につきましては、平成24年度にピークを迎え、その後は大幅に減少していく見通しでございます。なお、今年度におきましても一時借入れは行っておりません。

次に、経理になりますけれども、14ページをお願いします。

平成24年度の損益計算では、下から3行目になりますけれども、2億8,159万4,927円の純利益となっております。これに、次の段の前年度の繰越利益剰余金を加えまして、当年度未処分利益剰余金の額は3億6,295万6,311円でございます。

そして、16ページをお願いします。

平成24年度の剰余金処分計算書（案）でございます。この額から今年度の議会の議決による処分数額として当年度に生じた純利益の全額を減債積立金に積み立て、その残りを次年度に繰り越しとする内容でご提案を申し上げます。

なお、17ページ以降におきましては、貸借対照表、収益費用明細書、資本的収支明細書、固定資産明細書並びに企業債明細書を添付しておりますので、これも後ほどご参照いただければと思います。

以上で平成24年度の下水道事業の決算概要の説明とさせていただきます。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 以上で説明は終わりました。

質疑については、9月20日及び9月24日の決算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 本日はこれもちまして散会します。

散会 午前11時47分

~~~~~ ○ ~~~~~